

作品 No.251



生きものの“つぶやき”:

「えっ今、朝なんですか?!」

エッセイ:

学校でふと、低木を見たら蝉が羽化していました。しかし、残念ながら次の日死んでしまっていました。蝉は夏に、うるさい程いますがこうやって死んでしまう蝉も少なくはないです。この事から、命の尊さ儚さを痛感しました。でも、羽化途中の蝉は、雪のように白い羽に、ミントグリーンのコントラストで、とても美しく、まるで宝石のようだと心打たれました。どんなに小さくても命には変わりないです。一人一人がもっと小さな命にも気を配ることが出来たのなら、この世界や自然はもっと良い方向へ向かっていけるのではないかと思いました。(250字)

生きものの紹介:

蝉

撮影場所・日時:

学校・2019年7月15日

応募者の自己紹介:

1. 佐野 文音 (さの あやね) / 静岡県立富士宮東高校2年
2. 水泳部
3. 将来の夢: 動物看護師

審査員よりひとこと

美しいセミの羽化シーンから、命の尊さを発想する感性の豊かさが感じられる作品です。セミはおそらくアブラゼミだと思います。